

村上市・荒川の鮭

水質日本一の一級河川。新潟県北部にある荒川は、国土交通省で3年連続の認定を受けている。また平成20年に環境省が発表した「平成の名水百選」にも選ばれている。この源は山形県磐梯朝日国立公園の名山・大朝日岳（標高1870m）に発し、山々の水を集めて越後平野の北端部を横断して日本海に注いでいる。川の長さは73km。清流とは聞いていたが3月下旬の荒川は、雪解け水なのかはたまた雨による濁りなのか。私が思い抱いていた透明度のあるものでは決してなかった。

しかしそれは滔々と流れる雄大な川であった。川岸には一艘の小舟が繋がれていた。周りに人影はない。恐らく漁師のものであろう。この船で何を捕ろうとするのか気になった。



日本屈指の清流「荒川」は春にはマス、初夏から秋にかけてアユ、そして晩秋にはサケ、その他にも様々な魚釣りが楽しめる。日本全国には10河川でサケ釣りが出来るが、ここ新潟県では荒川だけである。また魚だけでなくカジカをはじめ多くの生物も生息する。そして豊かな河川敷の土壌にはススキ、ツルヨシ、タコノアシなどの植物群落が見られる。

たとえ狭い土地であっても可能な限り有効利用をしようと、河川環境の整備を進めている日本。野球場、ゴルフ場、サッカー場、テニスコート、サイクリングコース、公園に畑。そして桜並木をはじめ、美しい植物がまるで花園のように造成されている。そこには人間の心身にわたる安らぎを与える効果があるのであろう。

撮影 2013 年春

